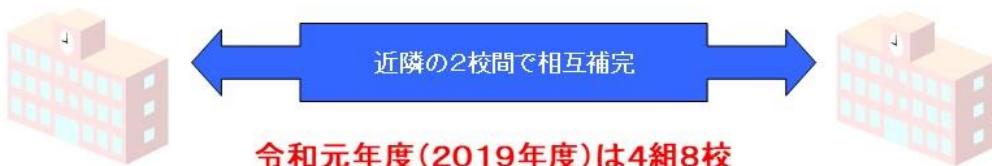


道立学校間連携の取組

近隣の道立学校（高校、特別支援学校等）が連携し、相互に教員を派遣することにより、道立学校の教育課程の維持充実や、教育活動の一層の推進を図る。



【教育課程の維持・充実のための連携】（高校と高校の連携の例）

- ◆ A高校の音楽の授業に、B高校の音楽の教員を派遣
(週2時間 音楽 I) ※A高校は芸術教員が未配置
- ◆ B高校の家庭科の授業に、A高校の家庭科の教員を派遣
(週2時間 家庭基礎) ※B高校は家庭科教員が未配置

【少人数指導等のための連携】（高校と特別支援学校の連携の例）

- ◆ C高校の数学の習熟度別指導に、D特別支援学校の数学の教員を派遣
(週1時間 数学 I で実施)
- ◆ D特別支援学校の英語のチーム・ティーチングに、C高校の英語の教員を派遣
(週1時間 コミュニケーション英語 I で実施)

小規模総合学科校等による地域と連携・協働した 高校魅力化推進事業

小規模の多様なタイプの高校が、地域創生の観点から地域と連携・協働して実施する高校の特色化・魅力化に向けた取組を支援しています。

対象校：第1学年3学級以下の多様なタイプ（総合学科、全日制普通科単位制、全日制専門学科単位制、普通科フィールド制、連携型中高一貫校）の道立高校

【実践テーマ】

- ◆ 地域と連携・協働した組織体制の構築に向けた取組
- ◆ 地域創生や持続可能な社会づくりの観点からの探究活動等の充実に向けた取組
- ◆ その他、地域の高校としての魅力化を推進するための教育活動に関する取組

【指定方針】

実践テーマに従い、高校の魅力化に向けた優れた取組を実施する高校を指定

【令和元年度(2019年度)実績】

総合学科10校、普通科単位制3校、連携型中高一貫6校で推進